

衣の魔女プロジェクト

人材育成

「学生達がソーシャル・アントレプレナーシップを効果的に学ぶために、廃棄衣料問題と福祉の工賃問題に同時にアプローチするソーシャルビジネスを総合企画プロデュースした」

- 主な連携先・メンバー
株式会社チクマ / 就労継続支援B型事業所のOLIVIA+、Chouchou、道の空
- 活動地域
大阪府内
- 活動資金
クラウドファンディング
- 活動期間
2021年度～継続中

連携にいたる経緯

「廃棄衣料問題」を検討する中で、意気投合した株式会社チクマとタグを組み、その未活用生地をアップサイクルした新商品「WITCHILL(ウィッチル)」シリーズを開発した。商品製作は、福祉事業所に依頼して彼らの工賃向上につながるように計画した。



#廃棄衣料問題解決 #産福学連携 #工賃とやりがい向上

活動内容

専門演習を中心に、ゼミ生がソーシャル・アントレプレナーシップを効果的に学ぶために、文献研究とともに、地域の企業や福祉事業所と協働するソーシャルビジネスを企画して社会実装する取り組みを行った。具体的には、以下の活動内容で構成される。

- (1) 廃棄衣料と就労継続支援B型事業所の社会課題調査
- (2) 上記2つの社会課題にアプローチする新商品「WITCHILL(ウィッチル)」シリーズの企画立案
- (3) アンケートを用いた市場調査および競合分析
- (4) パートナー組織の開拓と協働
- (5) ビジネスモデルの構築と各種マーケティング施策(STP&4P)の最終決定
- (6) 試作品開発と、資金調達のためのクラウドファンディング準備
- (7) クラウドファンディングの実施(9月10日～10月26日@GoodMorning)
- (8) 新商品「WITCHILL(ウィッチル)」シリーズの製品化

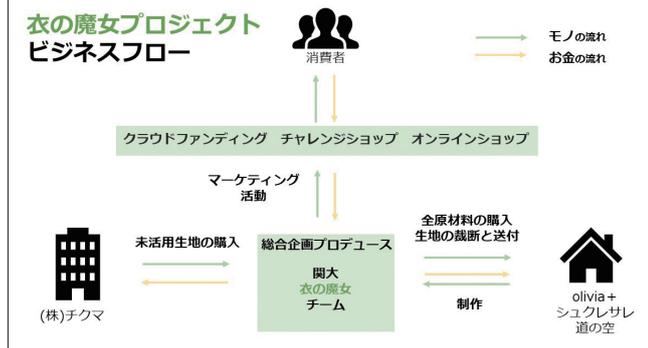
上記のプロセスで、ゼミ生達は数え切れないほどの打ち合わせをパートナー組織と行ってきた。打ち合わせ方法は、オンライン・対面・メールの形を取り、特に未活用生地の仕入価格や福祉事業所の工賃については、パートナー組織へのきめ細やかなアンケート調査に基づき決定している。



福祉・人権

教育

衣の魔女プロジェクト ビジネスフロー



環境・アセット
マネジメント

活動の成果

- ▶ 新商品「WITCHILL(ウィッチル)」シリーズの完成
(3種類のパネロポーチと1種類のトートバッグの計4品)
- ▶ クラウドファンディングで多くの方々の共感と支援を獲得
(111人から52万8千円のご支援)
- ▶ 未活用生地をアップサイクルでき、福祉事業所の工賃を従来の2倍以上にすることができた

今後の課題・目標

- ▶ 衣の魔女プロジェクトのブラッシュアップと継続
- ▶ より根本的な社会課題解決に向けたソーシャルビジネスの企画立案と展開

連携先からのひとこと

学生さん達の熱意でいろんな点(環境や福祉)が繋がっていったこと。そして何より社内でも今回のプロジェクトに関心を持ってくれた人が多く、環境や福祉への取り組みにより前向きになっていけそうな雰囲気ができてきたことが大きな成果です。協働させていただきとても楽しかったです。

(株式会社チクマ)

意図が明確でそこに至るまでのプロセスや経緯がしっかりと裏付けられていたので見習いたい点だと思います。

(道の空)

学生様が作業場まで出向いてくださり、自然体で笑顔を見せてくださって、作業場の全員がとても前向きに意欲的になって、良い影響、良い風をあたえてくださったと感じています。

(Chouchou)

商学部 教授 横山 恵子 Yokoyama Keiko



調査現場において、既存の枠を打破して新価値創造に果敢に取り組む人々と触れあう中、アントレプレナーシップという生き方に魅せられるようになり、「ソーシャル・アントレプレナーシップと協働」を研究・教育活動の中核に置く。一般社団法人そばくりラボ代表理事。